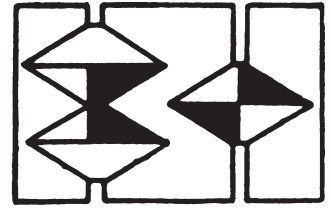


第210号

〔発行〕
令和3年2月14日

〔発行所〕

〒600-8009
京都市下京区四条通室町東入
京都商工会議所内
京都珠算振興会
☎075(353)7124 〆075(353)7125



第64回塾生珠算競技大会

令和2年11月15日(日)、京都経済センター7階の京都商工会議所会議室において第64回塾生競技大会が小学生・中学生・高校生合わせて169名参加の下、開催されました。

今年度の塾生大会は、新型コロナウイルス感染症対策のため、小学4年生以下の部と高校生の部を午前、小学5・6年生の部と中学生の部を午後に分けて開催しました。午前・午後に分けての開催は、第51回大会(当時は、小学生と中学生で分けていました。)以来、13年ぶりとなりました。

大会は、午前・午後ともに入江実副会長からのあいさつと川本敏代競技委員長から競技上の注意があり、競技が開始されました。

競技は、団体・個人総合競技、よみあげ算競技、よみあげ暗算競技、フラッシュ暗算競技の順で熱戦が繰りひろげられました。

団体総合競技においては、小学4年生以下の部は、修学館、小学5・6年生の部は、そろばん脳育学園、中学生の部と高校生の部は、西京都学院がそれぞれ制しました。

個人総合競技は、小学4年生以下の部は、竹内幸希選手が初の満点で2連覇を達成しました。小学5・6年生の部は、中村里織選手との同点決勝を制した三原駿介選手が、中学生の部は、竹内美結選手との同点決勝を制した三原智輝選手が、兄弟同時にそれぞれ初優勝を飾りました。なお、兄弟姉妹での同時優勝は、7年ぶり4組目です。高校生の部は、磯貝選手が4年連続で満点での優勝

を、大平優選手との同点決勝を制して、達成しました。惜しくも、揃ったの優勝とは、ならなかったものの、竹内美結選手と幸希選手の姉弟そろっての満点は、見事でした。

種目別競技は、小学4年生以下の部は、よみあげ算を矢ヶ部椎名選手、よみあげ暗算を高山開智選手、フラッシュ暗算を竹内幸希選手が、小学校5・6年生の部は、よみあげ算を石垣名菜選手、よみあげ暗算を矢ヶ部葉月選手、フラッシュ暗算を曾我航平選手がそれぞれ分け合いました。中学生の部は、よみあげ暗算とフラッシュ暗算を三原智輝選手、よみあげ算を橋本樹選手で分け合いました。高校生の部は、3種目全てを磯貝勇誠選手が制し、団体・個人総合競技を合わせ、第56回大会でフラッシュ暗算競技を正式に種目別競技として実施してから、初の5冠を達成しました。

また、今年度も(株)インターネット様より参加者全員にソフトメッシュフリーケースをご提供いただきました。今年度は、中学生の部と高校生の部



の満点での同点決勝を含む3部門で同点決勝が行われるとともに、小学4年生以下の部での満点を含め、3部門で5名の満点獲得者が出るレベルの高い総合競技となりました。

また、種目別競技でも、小学生の2部門は、各種目の優勝者が異なるなど、無観客での開催であることを忘れさせてくれる非常に白熱した大会となりました。

来年度は、全ての部門で多くの満点者がでる、さらにレベルの高い大会となることを期待しています。

来年度は、元通り、小学生から高校生までが一堂に会し、大会を開催したいと考えておりますので、会員の先生方には、ぜひ団体を構成し、1人でも多くの塾生を参加させていただき、活気ある大会となるよう、ご協力をお願い致します。

朝から夕方まで長丁場となりましたが、当日、お手伝いいただいた先生方、青年学生部の方、ありがとうございました。競技委員会

兄弟姉妹での個人総合競技の同時優勝記録

| | | |
|-------------------|----------------------|----------------------|
| 第8回大会 (昭和39年) | 矢野 明 (小学生の部) | 矢野 美子 (高校生の部) |
| 第21回大会 (昭和52年) | 中川 郁美 (小学4年生以下の部) | 中川 里美 (小学生の部) |
| 第57回大会 (平成25年) | 磯貝 勇誠 (小学4年生以下の部) | 磯貝咲妃音 (小学5・6年生の部) |
| 第64回大会 (令和2年) | 三原 駿介 (小学5・6年生の部) | 三原 智輝 (中学生の部) |

※部門は、当時の標記です。

(小学生の部と小学5・6年生の部は同じ)

個人総合競技優勝者の声

【小学四年生以下の部】

塾生大会に優勝して

修学館 竹内幸希

4年生になった時、新型コロナの影響で、検定試験や競技会が中止や延期が続く、不安な気持ちでしたが、先生から塾生大会が開催されると聞いた時はうれしかったです。昨年は1問ミスをして満点が取れませんでしたので、今年は満点を目標にがんばろうと思いました。練習ではほぼ満点が取れていましたが、大会でも絶対満点を取ろうと望みました。

先生から団体戦も東崎叶愛さんと今村友柚くんと3人で力を合わせてがんばるように言われていました。練習する仲間がいるので練習が嫌にならなかった事はありません。

個人戦で満点を取ることができ、団体戦も優勝することができたので、非常にうれしかったです。

先生から「練習できるのは、お父さん、お母さんの応援があるからですよ。」というも言われています。お父さん、お母さんありがとうございます。いつも迎えにきてくれるおじいちゃんにも感謝したいと思います。

【小学五・六年生の部】

塾生珠算競技大会で初めて優勝して

西京都学院 三原駿介

練習では、一度も満点がとれませんでした。四年生の時の最高点もこえられず、優勝できるか不安でした。でも、一生懸命に練習をしました。

本番では、しっかり見直しました。種目別競技では、よみあげ暗算とフラッシュ暗算をいっぱい練習したのでよみあげ暗算とフラッシュ暗算で、二等をとれました。個人総合競技は500点をとって、練習での最高点をこえられました。でも、他の六年生も500点をとっていたので、同点決勝になりました。同点決勝の練習はしていなかったもので、初めてだったけれど先に手を挙げられました。その個人総合競技で、ついに優勝できました。初めての優勝でうれしかったです。兄は満点で同点決勝をして、優勝したので、兄弟優勝ができてうれしかったです。

来年は、満点を取って兄弟で優勝したいです。次は、京都カップでの大会で、チャンピオンになれるようにがんばって練習に取り組みたいと思います。

【中学生の部】

塾生珠算競技大会に優勝して

西京都学院 三原智輝

前回大会では、初めて満点を取れましたが、同点決勝で磯貝選手に負けて準優勝でした。なので、今年こそは優勝すると思って練習をしました。また、種目別競技の全て優勝も目指しました。今回は、個人総合よりも読み上げ算とフラッシュ暗算を家や塾で大量に問題を練習しました。読み上げ算は、寺田先生に読んでもらって、速いものにもだんだんついていけるようになりました。まだ一回も優勝したことがないので、家

でも3DSのソフトを使ってたくさん練習をしました。フラッシュ暗算は、優勝できるかすごく不安で、最近では九段を正解するのに精一杯でした。三年生ぐらいからずっと九段のままで、成長していません。このままでは優勝できないと思い、家で猛練習をしました。3桁15口4秒から0.8秒ずつあげていって、3秒を切るころまでできるようになりました。これで優勝できると自信がつかしました。

本番。最初のかけ算では、詰まっていたよりも見直しの時間を取れませんでした。やっぱり意識してしまっていて書き直しが多くなったり慎重になり過ぎたりしたので、直せるようにしたいです。点数は満点で、同点決勝だった竹内選手と同点決勝をしました。いつも通りにしようと思いましたが、わり算がスムーズに割れなくて、時間がかかってしまいました。優勝することはできましたが、次回は詰まらずに満点を出せるようにしたいです。

読み上げ算では、同点決勝で橋本選手に負けてしまいました。12桁までは合わせられたので練習の効果は出ました。でもやっぱり結果が負けなので悔しいです。

読み上げ暗算とフラッシュ暗算では優勝することができました。特に、フラッシュ暗算で大会としては初めて十段を合わせられたのでうれしかったです。

この大会で、団体と個人と種目別の2種目別で合わせて4つ優勝でき

ました。あと、弟は優勝できないと思ってたのに弟も優勝したことがびっくりでした。点数表を見てみんあの点数と比べてみると、いつも悪い見取算が満点だったことが大きかったなと思いました。来年は、団体・個人と種目別の3種目の優勝と、出来れば兄弟優勝連覇の達成を目指して頑張りたいと思います。

今年の春頃から、コロナウイルスの影響で大会がない状況が続きました。その間は、かけ算やわり算の大きい桁を暗算で練習したり、みとり算の長い口数の問題を練習しました。大会がない時期だからこそできることだと思いました。そのおかげで、暗算のスピードも速くなったし、クリスマスカップ（リモートでの全国大会）に向けての練習にもなったと思います。クリスマスカップでは、上位入賞を目指して頑張りたいと思います。

【高校生の部】

塾生珠算競技大会を終えて

西京都学院 磯貝勇誠

第64回塾生珠算競技大会では、例年読上算で優勝できませんでした。今年こそは全競技で優勝したいと思っていました。

まず、個人総合競技は絶対に間違えないようにしっかりと見直しをしました。僕は見直しをするとき、一周目とは違う方法で検算するようにしています。同じ方法でやると同じ間違いをして間違いに気づけないことがあるからです。

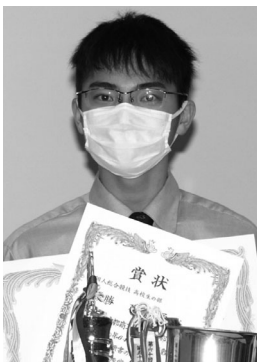
続いて読上算競技では予選は無事満点でしたが、決勝となると緊張で手が震えました。手が震えてまともに弾けず、間違えてしまいました。負けを覚悟しましたが、決勝の相手の大平優選手も誤答で、このチャンスを生かさなければ、と思いました。続く問題で正答し、久しぶりに優勝することができ嬉しかったです。

その後、個人総合競技の決勝がありました。「満点で優勝」が目標でしたが、今年もミスをしてしまいました。総合競技の満点の取り方はだんだん分かってきましたが、決勝ではなかなか満点を取ることができずにいるので、これからの自分の課題です。

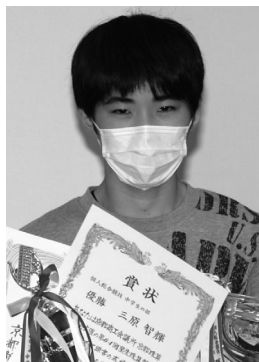
読上算で優勝した勢いで読上暗算、フラッシュ暗算も優勝で最初の全競技制覇となりました。もちろん嬉しい気持ちもありますが、今年達成したからには来年も負けるわけにはいかないという思いが強いです。来年も全競技で優勝できるように練習しようと思います。

ところで、上達するにはどうしたら良いのでしょうか。がむしゃらに練習して量をこなしても上達はすると思いますが、大切なのはより速く、より正確に解く方法を自分で考えることだと思います。自分で考えて分からなければ、先生や周りの上手な人に聞いてみると良いと思います。

最後になりますが、コロナ禍という難しい状況にもかかわらず大会開催にご尽力いただきました皆様方には心より感謝申し上げます。ありがとうございます。



高校生の部
磯貝勇誠 選手



中学生の部
三原智輝 選手



小学五・六年生の部
三原駿介 選手



小学四年生以下の部
竹内幸希 選手

とうございました。これからも頑張ります。



令和2年11月7日から、毎週土曜日、午前10時から11時まで、当教室において「みやこ子ども土曜塾」を4回開催いたしました。

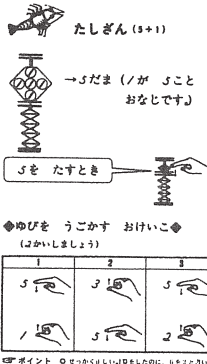
参加者は、小学3年生が1名、2年生が1名、1年生が2名、幼稚園年中組（5歳）が3名の、計7名でした。今回、5歳児で数字がまだ正しく書けないお子たちがおられ、数字のおけいこからのスタートでした。小学生は、すぐに、そろばんを使つての指導に入れました。それぞれのペースで進めていけました。

はじめのそろばんに、親しみをもち、近くの教室に通い、上達して欲しいなあと思います。

京都誠珠会 馬場 悦子

みやこ子ども土曜塾を開催して

ちびっこ 0 18頁



目と指で、イメージ学習 **ちびっこそろばん (0)~(11)**

難しい理屈は大の苦手でも、子どもたちは物事をイメージで捕えて、体で覚えることは得意です。目で覚え、指で理解することの大切さ。ちびっこそろばんシリーズはこの点に着目した業界初の園児でも学習可能な初歩教材です。豊富な図解に的確な指導要領——分かりやすい教材は、また教えやすさの証明です。類似書の追隨を許さぬ高いシェアを誇ります。特に重要な入門段階では、復習用にプリント集もご紹介します。



B5判 48頁・定価 ¥300

佐藤出版株式会社 ☎(0532)45-5956・FAX 48-4653

京都刑務所
『珠算教育』に携わって

「教育行事と選択者」

月ごとに教育行事予定が組まれた種々ある行事に、クラブ等とある予定に珠算指導が組まれています。『絵画』『短歌』『珠算』があり珠算は、年3回実施される検定試験を節に教育部より募集があります。

より多くの希望者に取得をかなえさせようと、継続希望が図られないことがありました。しかし継続を願う希望者が多くなり、練習時間の必要性を理解していただき、受け入れられた経緯があります。

時代が遷り変わるにつれそろばんに関心や必要性を感じない方が増えている傾向を感じます。希望者数も当初のころは毎期の募集に40余名からの選択希望がありました。最近では減少し20名足らずの希望者数の推移です。中には明らかに作業を抜けるために希望する方もいるとのことでした。

受講者は毎期10名ぐらいですが収容者の年々減少から各作業部のリーダーなどから希望がでるのだが、抜かれると作業グループをまとめにくいなど、と希望がかなえられないこともあるようです。

「珠算指導について」

検定を区切りに希望者から毎期約10名が選考され、毎週1回(1時間)、

6月・10月・2月に行われる珠算検定試験に向け練習です。

1回目は取得級を尋ねることから始まり、経験のある方でも小学校のころ算数で習っただけ。何級か受かって見取算は何かできそうだが自信がない。掛け算・割り算は忘れた。だんだん上級になるにつれ難しくなってきたのでやめた。小数の問題が分からなくなった。という理由に初体験の諸外国の方と選択者はいろいろです。

指導に当たり1時間ごとに課題を持ち練習に取り組むこと。希望した珠算へ目標達成にチャレンジすること。練習に集中し努力すること、など伝え始めています。

導入の基礎教材は高校の珠算実務教材をベースに説明を進め、練習の補助教材として基礎から6級程度までの問題集を使用しています。

経験者の教材は合格級を確認し忘れたりあやふやだったりといろいろな状況があり、指導の説明を聞くことを第一に、思い出したり、理解できなければ先へ進んでもらっています。新しい導入問題の説明はいつたん聞くことを伝え進んでいます。

課題の目標に達するに正しい運指・運珠の大切さ、2指を効率よく使い計算を進めることを促し、基礎の重要性和地道に繰り返し練習を重ねることを心して、目標に努力を惜しまずくり返し積み重ねることを伝えていきます。

基礎指導の内容は次の通り。

- ① 数字の書き方、訂正の仕方
- ② 数のおきかた
- ③ 加算と減算
- ④ 指の分担
- ⑤ たまの運びかた
- ⑥ 乗数が2桁の場合
- ⑦ 被乗数が3桁の場合
- ⑧ 乗数が3桁の場合
- ⑨ 除数が2桁の場合
- ⑩ 除数が3桁の場合

以上が約6週間の指導予定です。練習級進捗状況により個別指導

- ⑪ 定位法について
- ⑫ 補数計算について
- ⑬ その他

○ 分割法

乗算・除算の乗数・除数が1桁の場合の計算は10倍数の計算処理で説明補正しています。

基礎指導後経験の無い方は6級の見取算、経験者には思い出してチャレンジしてみたい級の見取算問題で10分テストを行います。今日の成績から1か月余りの練習成果の伸びを予測し課題級の選択と目標級のたて方を伝え、各級の計算程度や内容を比較、検定の諸注意を説明します。

また、経験者の忘れていた乗算、除算も、教材に目を通していくと思い出されいかれ、下級から問題集を練習されることが確認できると1級ずつ程度を上げられ、検定試験の課題級にチャレンジされている

現状です。

検定試験の課題級が決まれば週1時間の練習を、前半3種目各10分練習と、30分練習をします。前半、後半の30分ずつが足りない時は、各種目短縮や1種目目の選択種目5分、あと2種目20分計測で余った時間は1種目目の補充や、計算種目順を指定し3種目25分など後回しにしたい種目を注視して進めています。

答案記入についての諸注意は1回目の総合練習を終え、答案回収し採点した個々の問題に注視させ、正しい答えの記入の仕方を説明します。個々の答案に記入上の注意点があればすべて書き込み、答案を返し記入の仕方について全体説明します。

検定での諸注意として、挿入記入した答え、二重解答、一部訂正、欄外解答の書き方、答えを書き直す場合の明確化など、あいまいな答えにならないよう明確に答案記入すること。これら検定の注意事項規定を守る。生活において社会で互いのマナーとして成り立っていることなどを話します。

でも、この一期だけでは上級へのチャレンジは決して簡単にはできないように、以前に追いつくことがやっとなの方が多い現状を聞きます。それぞれの感触はまちまちですが、繰り返し練習と必ず間違い問題の修正を心がけることを伝えています。部屋での練習をすることを奨励していますが、1人部屋に2人部屋の

選択者がいます。2人部屋では方やテレビを見ている横ではちばちのそらばんの音に気が引け、うるさいといわれないか気が咎めるなどいろいろな状況があり、練習はやり難いと聞く。種々の状況下での練習方法として2口でいいからそれぞれを足すときや引く時をイメージしてそれぞれの状況に必要な補数の早い読み取りなどができるように、と言ったこともある。イメージトレーニング(暗算)をして珠の動きを確認することも進めています。また、1時間の練習に集中される意気ごみや部屋での練習の熱意に、真剣に向き合っている様子を聞くことがあります。

「そろばんを通して」

目標課題級にチャレンジしますが、この1時間だけの練習ではあまり伸びないから、時間があれば練習をして上級に目標をおき挑戦してほしい。1時間を有意義に使ってほしい。練習を重ね合格点に達したことから油断がおこり、慣れから気の緩みを出してはいけない。検算をすることでさらなる正確さを身に着けてください。と結ぶ。

検定の成績目標は制限時間内に全問計算が仕上げられ合格点を目指すより、たとえ問題が全問できなくても、解答した問題全問正解のほうが不可欠です。これは自分に与えられた仕事への責任の全うや信頼につながることもある。

現代社会においては計算道具とし

てのそろばんはコンピュータ化され残念ながら非常に少ない。しかし、そろばんを教育教材としては必要と考え日本の伝統文化は小学校の教育課程には数時間残っている。珠算技能は現社会において個人それぞれに数的基礎に対応することや、判断力や注意力、集中力など対応力に生きています。

指導させていただき5・6年が経過したところ、毎月の教育行事予定に記載された予定名が珠算クラブから珠算教育に変わりました。「珠算教育は検定合格を目的とした取得教育として募集します。たくさんの合格者をご指導願います。」と教育部長から話がありました。

現在の希望者数は二十名ぐらになり、珠算経験者も幼少時代の経験者数も減少、もう一度やってみようかという意思や現社会においてあまり必要性を感じない意識傾向などが伺えられます。そろばんの認識が時代とともに薄れてきていることを感じさせます。しかし、受講しているひとり一人は課題と目標を持って一杯練習されています。

「終わりに」

京都珠算振興会創立10周年記念誌に、創立して2年目の昭和28年8月第1回の例会の議題です。「京都財務所の受刑者に対する検定実施について」と案件がありました。そして昭和29年2月珠算能力検定試験会場山科分試験場として実施された記録

があります。戦後の経済にそろばんが欠かせない時代と重なり、経済成長とともに継がれてきたそろばんはここからも日本の戦後復興に関わっていたことが伺えます。

話は変わりますが検定試験の折に準備された検定試験の問題袋には、山科会場と表記されています。教育部の方から会場名表記を見られ「気を使っていたらいいのですね。」と、言われたことでした。検定試験実施会場「山科」と記され継がれています。

平成14年5月から引き継ぎ矯正教育をさせていただいていますが毎月発行される「月刊やましな」に、受刑者の行感想文が載せられています。珠算検定合格の喜びの声に、毎週の指導への感謝のことばと頑張っ合格できてよかった。という内容。何の飾りも無い文章ですが頑張った結果そのままの嬉しい感想文が載せられています。努力の結果の喜びの重要性や体得してきたことが更生へ向かうことを願っています。

京都珠算振興会 篤志面接委員
京都財務所 篤志面接委員

袴田 徳司

篤志面接委員として矯正教育に携わり昨春秋に藍綬褒章をいただきました。荣誉に恥じないよう多くの方々のご指導ご鞭撻をいただき、ご芳情に報いたいと心して向かいたいと思います。

◆藍綬褒章

【京都府】(11人)

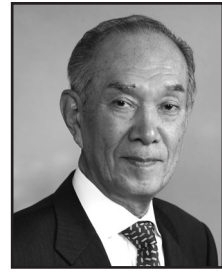
- 大倉治彦(62) 日本酒造組合中央会長(酒類業振興) 伏見区本村木町▽大塚良弘(78) 元民生・児童委員(社会福祉)
- 西京区上桂大野町▽須藤誠一(69) 元トヨタ自動車副社長(産業振興) 南区久世上久世町▽土井伸宏(64) 京都銀行頭取(金融業) 上京区真倉町▽友次秀正(71) 元調停委員(調停委員) 福知山市前田▽中川康(77) 保護司(更生保護)
- 下京区西七条西石ヶ坪町▽袴田徳司(70) 篤志面接委員(矯正教育) 中京区笹屋町▽服部和貴(76) 保護司(更生保護) 宇治市宇治妙楽▽羽田正敏(65) 元近畿卸酒販組合理事長(酒類業振興) 北区小山坡倉町▽古田秀治(76) 保護司(更生保護) 南区久世中久世町2▽吉田壽男(83) 宇治市明るい選挙推進協議会長(選挙関係事務) 宇治市伊勢田町毛語

編集後記

今年の節分は2月2日で、実に14年ぶりとのこと。因みに現在長寿世界一の方の年齢が118歳(日本人女性)だそう、存命者全員が初めて経験する珍事ということになります。初めて経験するといえ、昨年より猛威を振るっている新型コロナウイルスにより、京都府でも1月13日より、2回目の緊急事態宣言が発令されました。同じ初めての事でも、珍事は喜ばしいですが、新型コロナウイルスに関しては、一刻も早く収束に向かうことを願うばかりです。

内海久行先生を偲んで

副会長 入江 実



昨年12月18日事務局からの電話に絶句：「内海先生が亡くなられました」

令和2年12月16日京都珠算振興会元副会長内海久行先生が79歳の生涯を全うされました。ここに謹んで哀悼の意を表します。先生は振興会の副会長として2期4年間にわたり、近畿珠算団体連合会（近団連）や近畿強化連合会（近畿連合）に京都代表として活躍されました。

想い返してみますと振興会には近年二人の副会長が在任され、内海先生より副会長の席を指名され平成22年より一緒に活動させていただきました。事務局で待ち合わせ、時には昼食を共にしながら珠算界や振興会に関する事、私的な部分までいろいろと教えて頂きました。大変温厚な性格で怒ったり暴言を吐くことなど一切なく、話の節々は筋の通った言葉が印象に残っています。残念ながらも一度教えを受けることは叶いませんが「しっかりといなさい」と言われぬように頑張っていきたいと思えます。

いつまでも振興会を見守っていて下さい。ご冥福をお祈りいたします。合掌

私と暗算

なかい皮ふ科 院長 中井 章淳

初めまして。私は京都市北区でクリニクを営む47歳です。入江珠算英数教室の入江実先生からご依頼を受け、僭越ながら寄稿させていただきました。今回の文章で強調したいこと、それは「そろばんを子供時代に学習したおかげで今日の自分がある」ということです。私は両親の奨めで小学校2年生から入江先生の珠算教室に通い始めました。当時、教室内の壁には十級から上級までの札が順に掛けてあり、それぞれの級のところに該当する生徒の名前の札がありました。教室では2週間に1度の土曜日に昇級試験がありました。私は昇級することが楽しかった。昇級すると新しいテキストがもらえて、そのテキストを開くと問題の数字の桁が増えていて、それに応じて文字が小さくなっている。それができるのだろうか？と思いつながら教室に通い練習しているとそれができるようになる。子供心に成功体験の嬉しさ、また、自分より上級者に追い付き追い越すという小さな世界での勝利体験の嬉しさで教室に通い続けたいように思います。週に3度の教室通いと土日の少年野球が私の小学生から中学生を終えるまでの生活でした。私は小学校6年生で珠算一級、中学3年生の終わりに珠算三段、暗算二段を取得しました。みどり算だけなら六段の認定を受けました（総合ではないため正式な認定ではない

と思います）。当時、高校生になったら勉強を頑張ろうと思っており、また高校の運動系クラブの活動はほぼ毎日と聞いていたため、気持ちの中でのそろばんの優先順位が下がりが教室をやめてしまいました。私程度の段位で経験談を述べるのはおこがましいですが、私は自分の暗算に今まで助けられてきました。特筆すべきは大学受験時のセンター試験（2021年から大学入学共通テストに名称変更）です。私は医学部志望でした。当時も現在も変わらず国立大学医学部に合格するには5教科7科目でかなりの点数を取る必要があります。多少のとりこぼしがあってもどれかが満点であればその分を補うことができます。それが数学でした。解法がわかれば計算するだけのため、暗算により計算時間が極端に短縮でき、その分の時間は問題を考える時間に費やすことができました。そろばんをよく知らない人は、「そろばんは単純計算のため小学生時には算数が得意でも、高度な内容になる高校数学では通用しない」と意見することがありますが、私自身の経験としては否定的です。解法の習得の努力は必須ですが、後の計算において圧倒的に有利となり、計算でのケアレスミスの心配が極端に減ることで計算のストレスから解放され、それが心の余裕となり普段以上の力を出すことにつながると思っています。医師になつてから大学院に進学し分子生物学の分野で研究をしたこと、大学院卒業後に博士研究員としてドイツで2年間働いたこと、そして現在のクリニクで

の仕事の基盤はそろばんで得た暗算がなければ成り立っていません。私にとつて暗算は日常生活で必須と言えます。このように暗算の重要性を実感していましたが、この数年で少しずつ頭に浮かぶそろばんの珠がぼやけてきたことを感じていました。これはまずい、自身の基盤が崩れると思ひ、自習のための暗算のテキストを購入する目的で2019年10月に京都珠算振興会を訪れたところ、奇跡のような偶然で入江先生に出会い、話がはずんで2020年2月の暗算検定を受けることになりました。あまりにも恥ずかしい結果は見せられないと思ひ、毎日10分でも20分でも問題に取り組んだおかげで子供時代と同じ二段に合格できました。ただし、現在の暗算検定の初めの方の問題は当時よりも桁数が少なく、そのおかげで点数が得られたものと思っています。その2月以降においては新型コロナウイルス感染症の拡大で検定試験や大会の中止、収容人数の制限などがなされると聞きました。感染の収束の兆しが未だ見えないうちで、ご子息・ご息女を送り出している保護者の皆様、感染防止に細心の注意を払いながら生徒を指導されている先生方、生徒の皆さんにおかれましては大変な時です。しかし、自宅で過ごす時間が長い今だからこそ、生徒の皆さんはそろばんの自宅鍛錬に励み、新型コロナウイルス感染症が下火になった頃には昇級・昇段していることを目指して頑張ってくださいと思います。

一級合格
第220回珠算能力検定試験

令和2年10月25日(日)

(注)ゴシック字は満点合格者

三上智華(草苑牧野) 東莉那・佐藤里咲(アイ) 山岸亜祐(北川) 山本莉子・曾我航平・今村友柚・松井幸太郎(修学館) 前川優妃・最上莉緒(天ヶ池) 東出蒼汰・真木琴子・今井一成・久野凌佑・脇長世莉・大槻奈緒・三浦翔・藤野市佳・林千咲稀・米田蒼彩・植田秀一・中條まどか(西京都) 山本美緒(西京都高雄) 藤林加帆・中村里織・正田琳梨・大塚来桃・岩崎優菜・井貝日菜音・勝本遥香・西條結衣・風間芽奈・西口花美・伊藤優花・岩崎颯大(醍醐) 北村絢音・伊原莉菜・里村優伽(浦) 星井みなみ(高橋) 宮田碧(水上) 前川康明(仲童) 平岡愛子・西川ゆず希・林磨利依・松富和紗・黒田そよ・田井陽莉・村上拓摩(ねこだん) 渡邊稜平・松原花怜・世古哉太・伊尾奏音(北山) 上島紗彩(五島) 三田樹(木幡平尾) 萬木寛也(花山) 宮川藍・千本木輝・矢ヶ部雅菜(脳脊) 山本大飛(誠珠会) 谷垣陽菜(荒井) 尾江海香(和田)

原田美優・安藤温生(余田) 寺田和馬(荒井) 鈴木楓菜・齋藤みな実(豊栄)

六段(一名) 武田尊真
五段(一名) 村上愛佳
四段(二名) 平井隆一・中尾和奏
三段(一名) 山本萌愛
二段(三名) 宮崎晴己・吉利優葵・佐藤百華

齋藤虎之介
初段(四名) 北山隼・宇野琴乃・大準初段(小川紗波)
岩崎真菜・山口理穂
第32回伝票暗算検定試験(近因連)
令和2年9月27日(日)

第32回 令和2年9月27日(日)
伝票暗算検定試験
段位:1・2・3級
級別 受験者数 合格者数 合格率
1級 47名 33名 70.2%
2級 23名 24名 95.7%
3級 29名 24名 82.8%
4級 46名 43名 93.5%
5級 145名 122名

第32回伝票暗算検定試験(近因連)
令和2年9月27日(日)

初段(二名) 小林美菜・小川紗波
四段(一名) 竹谷快斗
四段(一名) 竹谷杏香
参段(六名) 勝本涼子・安田結衣・藤川裕生・宮崎晴己・山本柚葉・田中かんな

九段(一名) 竹谷快斗
七段(一名) 藤林加帆
五段(一名) 鈴木淳哉
四段(二名) 上原寛正・北山隼
参段(一名) 田畑優斗
準参段(一名) 村松直幸
初段(一名) 橋本航太郎

第33回 令和2年10月25日(日)
伝票暗算検定試験
段位:1・2・3・4・5級
級別 受験者数 合格者数 合格率
1級 15名 7名 46.7%
2級 4名 2名 50.0%
3級 12名 9名 75.0%
4級 29名 20名 69.0%
5級 8名 8名 100.0%
計 69名 47名

第33回伝票暗算検定試験(近因連)
令和2年12月13日(日)

初段(七名) 関口鈴菜・峯森捺寧・永田紗菜・倉貴由彩・森田翔星・増田和旺・鈴木楓菜
準初段(七名) 北村心花・古川璃乃・北山隼・井尻和惟・中尾和奏・長井瑠香・東田和優花

第33回伝票暗算検定試験(近因連)
令和2年10月25日(日)

第246回 令和2年10月25日(日)
暗算検定試験
級別 受験者数 合格者数 合格率
1級 6名 5名 83.3%
2級 17名 10名 58.8%
3級 36名 24名 66.7%
4級 44名 37名 84.1%
5級 8名 6名 75.0%
6級 12名 8名 66.7%
7級 6名 6名 100.0%
8級 24名 24名 100.0%
9級 20名 20名 100.0%
10級 16名 16名 100.0%
計 205名 171名

第246回暗算検定試験
令和2年10月25日(日)

七段(一名) 竹谷快斗
四段(三名) 石塚惺也・平井隆一・山本絢香
参段(五名) 松下璃来・高畑実夢・磯辺伊織・高安陽斗・松島有希乃
準参段(三名) 田畑優斗・和田愛海・森田翔星

第33回伝票暗算検定試験(近因連)
令和2年12月13日(日)

第247回 令和2年12月13日(日)
暗算検定試験
級別 受験者数 合格者数 合格率
1級 27名 20名 74.1%
2級 50名 40名 80.0%
3級 46名 37名 80.4%
4級 91名 72名 79.1%
5級 113名 95名 84.1%
6級 71名 57名 80.3%
7級 33名 31名 93.9%
8級 32名 32名 100.0%
9級 22名 21名 95.5%
10級 0名 0名 0.0%
計 485名 405名

第247回暗算検定試験
令和2年12月13日(日)

七段(一名) 竹谷快斗
四段(三名) 石塚惺也・平井隆一・山本絢香
参段(五名) 松下璃来・高畑実夢・磯辺伊織・高安陽斗・松島有希乃
準参段(三名) 田畑優斗・和田愛海・森田翔星

第33回伝票暗算検定試験(近因連)
令和2年12月13日(日)

第133回 令和2年9月27日(日)
準1級・準2級・準3級
第396回 4・5・6・7・8・9・10級
珠算能力検定試験
級別 受験者数 合格者数 合格率
準1級 27名 20名 74.1%
準2級 50名 40名 80.0%
準3級 46名 37名 80.4%
4級 91名 72名 79.1%
5級 113名 95名 84.1%
6級 71名 57名 80.3%
7級 33名 31名 93.9%
8級 32名 32名 100.0%
9級 22名 21名 95.5%
10級 0名 0名 0.0%
計 485名 405名

第133回準1級・準2級・準3級
第396回4・5・6・7・8・9・10級
珠算能力検定試験
令和2年9月27日(日)

七段(一名) 竹谷快斗
四段(三名) 石塚惺也・平井隆一・山本絢香
参段(五名) 松下璃来・高畑実夢・磯辺伊織・高安陽斗・松島有希乃
準参段(三名) 田畑優斗・和田愛海・森田翔星

第33回伝票暗算検定試験(近因連)
令和2年12月13日(日)

第220回 令和2年10月25日(日)
1・2・3級珠算能力検定試験
級別 受験者数 合格者数 合格率
1級 199名 74名 37.2%
2級 208名 88名 42.3%
3級 251名 168名 66.9%
計 658名 330名

第220回1・2・3級珠算能力検定試験
令和2年10月25日(日)

七段(一名) 竹谷快斗
四段(三名) 石塚惺也・平井隆一・山本絢香
参段(五名) 松下璃来・高畑実夢・磯辺伊織・高安陽斗・松島有希乃
準参段(三名) 田畑優斗・和田愛海・森田翔星

第220回1・2・3級珠算能力検定試験
令和2年10月25日(日)

第227回 令和2年12月13日(日)
伝票暗算検定試験
級別 受験者数 合格者数 合格率
1級 15名 7名 46.7%
2級 4名 2名 50.0%
3級 12名 9名 75.0%
4級 29名 20名 69.0%
5級 8名 8名 100.0%
計 69名 47名

第227回伝票暗算検定試験
令和2年12月13日(日)

七段(一名) 竹谷快斗
四段(三名) 石塚惺也・平井隆一・山本絢香
参段(五名) 松下璃来・高畑実夢・磯辺伊織・高安陽斗・松島有希乃
準参段(三名) 田畑優斗・和田愛海・森田翔星

第227回伝票暗算検定試験
令和2年12月13日(日)

第134回 令和元年12月13日(日)
準1級・準2級・準3級
第397回 4・5・6・7・8・9・10級
珠算能力検定試験
級別 受験者数 合格者数 合格率
準1級 29名 21名 72.4%
準2級 53名 43名 81.1%
準3級 38名 29名 76.3%
4級 62名 52名 83.9%
5級 47名 40名 85.1%
6級 63名 58名 92.1%
7級 44名 42名 95.5%
8級 34名 32名 94.1%
9級 12名 10名 83.3%
10級 2名 2名 100.0%
計 382名 329名

第134回準1級・準2級・準3級
第397回4・5・6・7・8・9・10級
珠算能力検定試験
令和元年12月13日(日)

七段(一名) 竹谷快斗
四段(三名) 石塚惺也・平井隆一・山本絢香
参段(五名) 松下璃来・高畑実夢・磯辺伊織・高安陽斗・松島有希乃
準参段(三名) 田畑優斗・和田愛海・森田翔星

第134回準1級・準2級・準3級
第397回4・5・6・7・8・9・10級
珠算能力検定試験
令和元年12月13日(日)

第33回 令和2年9月27日(日)
伝票暗算検定試験
級別 受験者数 合格者数 合格率
1級 40名 29名 72.5%
2級 21名 16名 76.2%
3級 27名 19名 70.4%
計 111名 84名

第33回伝票暗算検定試験
令和2年9月27日(日)

七段(一名) 竹谷快斗
四段(三名) 石塚惺也・平井隆一・山本絢香
参段(五名) 松下璃来・高畑実夢・磯辺伊織・高安陽斗・松島有希乃
準参段(三名) 田畑優斗・和田愛海・森田翔星

第33回伝票暗算検定試験
令和2年9月27日(日)

(注)伝票・伝票暗算・暗算段検の合格者数は
昇段者数・昇段率

高橋風介・楠華峯・吉益歌音・石垣名菜・山本柚葉・伊藤利紗・三浦翔

二段(九名) 日下稜翔・海野圭吾・杉原璃咲・大津智洋・岡大地・松岡拓哉・喜多涼介・山岸天莉・谷山颯希

準二段(二十名) 清水薫・黒田祥平・間下佳歩・鈴木成実・吉澤佳生・中川雅子・平野結子・田中良日斗・谷林彩・新治蒼彩・竹谷杏香・藤川裕生・坂田花菜・岡本美葉・安田結衣・明田百望花・宮田碧・竹中つた・村上奈々・河原奈那

初段(十四名) 小林葵依・長谷川あい・久保十八・堀有香音・森下初音・山本絢香・嘉喜怜奈・秋重希海・藤澤百花・松村拓真・北村澤音・高谷咲楽・西川ゆず希・梅谷一稀

準初段(十九名) 星野百福・筒井繪菜・中ノ内董・村上愛佳・小林周・出口絵美里・和田愛海・岩泉琉斗・松井綾香・勝本遥香・小島悠輝・大井千菜津・増澤裕星・竹中はな・村上舞・平岡愛子・平井隆一・川口弓月・磯辺伊織

暗算段位認定者
満点十段(二名) 三原智輝
九段(一名) 竹内美結
七段(一名) 高橋風介
六段(四名) 竹内幸希・矢ヶ部葉月・久野凌佑・喜多桃香

五段(三名) 三原駿介・鳴海郁宏・石垣名菜
四段(四名) 大津壮吾・吉益歌音・海野圭吾・山本絢香
三段(十一名) 竹谷快斗・楠華峯・新治蒼彩・山本柚葉・脇長世莉・大概奈緒・三浦翔・中條まじか・藤林加帆・矢ヶ部稚菜・千本木輝

準三段(三名) 高安陽斗・森下初音・中村里織
二段(四名) 間下佳歩・平野結子・和田愛海・高山開智
準二段(十名) 鈴木成実・田中良日斗・出口絵美里・谷林彩・日下稜翔・伊藤利紗・嘉喜怜奈・林歩咲・宮川藍・戸島美風

初段(五名) 星野百福・久保十八・野村祐人・赤澤大輔・尾崎壮祐
準初段(九名) 黒田祥平・西村夏菜・吉澤佳生・村上愛佳・小林周・稲葉翔吾・増田和旺・岩本咲良・喜多涼介

会員 消息

お祝い

袴田 徳司 先生
令和2年秋の褒章「藍綬褒章」受章
お悔やみ
内海 久行 先生 4号B

事務局 日誌

十月二十五日

一. 第220回1級〜3級、第133回準1級〜準3級、第396回4級〜10級珠算能力検定試験、第246回暗算段位検定試験・1級〜10級暗算検定試験、第130回段位認定試験実施
於 京都商工会議所

一. 第3回役員会
1. 10月検定の報告と反省 2. 12月検定について 3. 2020年京都カップ珠算競技大会の報告

4. 2020年全国そろばんコンクールについて 5. 第64回塾生珠算競技大会について 6. 第24回ちびっこそろばんフェスティバルについて(中止) 7. 令和2年度優良生徒表彰について 8. 令和3年1月10日開催の研修会について 9. 令和3年1月10日開催の例会並びに新年会について 10. 総会開催の日時・会場について 11. 会報第209号発行の報告 12. その他

一. 会報第209号発行
十月二十七日
一. 第5回検定委員会
十月二十九日
一. 近団連伝票算検定委員会
十一月八日
於 マイドームおおさか

一. 近畿ブロック会議
十一月八日
於 大阪南港ATCホール
十一月十五日
一. 第64回塾生珠算競技大会開催
於 京都商工会議所

一. 2020年度全日本ユース珠算選手権大会(入江実副会長開会挨拶・

Zoomでの大会)

十一月十八日

一. 「学校支援活動珠算講師派遣」分担会議 於 全珠連京都府支部
十一月二十三日〜十二月六日
一. 2020年
全国そろばんコンクール開催
十一月二十九日
一. 近団連新検定検討委員会
於 大阪珠算協会

十二月六日
一. 第6回検定委員会
1. 12月検定について
一. 第4回役員会
1. 12月検定について 2. 2月検定について 3. 2020年全国そろばんコンクールの報告 4. 第64回塾生珠算競技大会の報告 5. 第24回ちびっこそろばんフェスティバルについて(中止) 6. 第49回近畿珠算競技大会京都府代表選手選考について 7. 第49回近畿珠算競技大会について 8. 令和2年度優良生徒表彰式について 9. 新春そろばんはじき初めについて(中止) 10. 1月の例会ならびに新年会について(新年会中止) 11. 小学校支援活動珠算指導の状況報告 12. 令和3年度事業計画について 13. その他

十二月十三日
第134回準1級〜準3級、第397回4級〜10級珠算能力検定試験、第247回暗算段位・1級〜10級暗算検定試験、第33回段位・1級〜3級伝票算検定試験・第33回段位・1級〜5級伝票暗算検定試験実施 於 京都商工会議所
2020年
全国そろばんコンクール
1. 部門別「全国」決定審査執行
於 京都経済センター16F
一. 第24回ちびっこそろばんフェスティバル開催(中止)
十二月二十日
一. 近畿連合拡大委員会
於 アートホテル大阪ベイタワー

十二月二十二日
一. 日珠連 第2回珠算振興部会
(Zoomによるオンライン会議)
十二月二十七日
一. 近団連幹部会
於 大阪珠算協会
一月五日
新春「そろばんはじき初め」
(中止)
一月十日
一. 第3回例会(中止)
一. 創立70周年記念委員会(中止)
一. 新年会(中止)
一. 第3回競技委員会
一月十五日〜二十四日
一. 第73回きんきベスト100実施
一月十九日・二十六日・
二月二日・二月七日
一. 第9・10・11・12回総務委員会
1. 会報第210号編集並びに校正
一月二十日
一. 第1回近団連近畿大会実行委員会
(Zoomによるオンライン会議)
一月二十四日
一. 第49回近畿珠算競技大会
京都府代表選手選考会
於 京都先端科学大学
一月二十七日
一. 第2回近団連近畿大会実行委員会
(Zoomによるオンライン会議)
一月三十一日
一. 第3回近団連近畿大会実行委員会
(Zoomによるオンライン会議)
二月四日
一. 第3回近団連近畿大会実行委員会
(Zoomによるオンライン会議)
二月七日
一. 第7回検定委員会
1. 2月検定について
一. 近団連競技委員会
(きんきベスト100第73回大会整理)
二月十一日
一. 近団連新検定検討委員会
於 大阪珠算協会